

あそしてつながり
し 出会い

こころ

はし

心のかけ橋

だいごう
第22号

ねんがつ
2019年3月

はつごう
発行

はつごう こなん し じん けん かい ぎ
発行：湖南市人権・まちづくり会議

じ む ぎ ゃ く じん けん よ う こ か
【事務局】人権擁護課

〒520-3195
TEL.77-7036

こなん し い し べ ち ゅ う ち ゅ う 一 丁 目 一 番 一 号
湖南市石部中央一丁目1番1号

FAX.77-4101

こなん し や く し ゃ に し ち ゅ う し ゃ 一 階
〔湖南市役所西庁舎1階〕

Eメール:jinkyo@city.shiga-konan.lg.jp



あなたは今、幸せですか？

こくれん が 156 か 国 を 対 象 に、2012 年 から 調 査 ・ 発 表 し て い る 『 世 界 幸 福 度 ラ ン キ ン グ 』、2018 年 第 1 位 は フ ィ ン ラ ン ド、2 位 は ノ ル ウ ェ ー、3 位 に デ ン マ ー ク と 北 欧 諸 国 が つ づ き、日 本 は 54 位 と 残 念 な 結 果 に な り ま し た。(2017 年 は 51 位)

ラ ン キ ン グ の 調 査 項 目 の う ち、「健 康 寿 命」「GDP」は 比 較 的 高 得 点 で す が「社 会 支 援」「自 由」「信 頼」「寛 容」と い っ た 項 目 の 数 値 が 低 く、「人 と 人 と の つ な が り」に こ れ か ら の 課 題 が 見 え ま す。

私 たち の ま ち の 幸 福 度 も 湖 南 市 民 が “自 分 を 大 切 に し、他 人 を 尊 重 す る” 事 から 高 ま っ て い く も の と 思 い ま す。

こ れ か ら も「湖 南 市 人 権 ま ち づ くり 会 議」は 市 民 一 人 一 人 が 自 分 の、そ し て 相 手 の 人 権 に つ い て 考 え、大 切 に す る お 手 伝 い を し て い き ま す。

かい ち ょ う ふ な こ し す ず よ
会 長 船 越 鈴 代



CONTENTS

- みんなのまちをみんなでつくる人権まちづくり会議 …… 2
- 今年度の部会活動を紹介します …… 5
- 市内小・中学校児童生徒の 人権ポスター・標語の紹介 …… 8

みんなのまちをみんなでつくる

じんけん かいぎ 人権まちづくり会議

～人権擁護とあらゆる差別をなくすために～

じんけんぶんかそうぞうぶ
人権文化創造部

みんなでつくる

湖南省人権まちづくり会議は、各区、市内各種団体、人権擁護委員、人権擁護推進員、湖南省社会福祉協議会、行政相談員、社会教育委員、部落問題・障がい者問題等の当事者団体、人権擁護に



取り組む団体等、各学区（中学校区）教職員等の代表と人権まちづくり会議が必要と認められたものによって構成されています。つまり湖南省に在任、在勤、在学しているすべて人がこの人権まちづくり会議の活動の参加者であるわけです。

ひとりを大切に

湖南省に在任、在勤、在学しているすべての人が、もれなく大切にされるまちであるために、人権まちづくり会議は活動しています。

具体的には、研修や集いの開催、啓発教材の収集や作成、そしてさまざまな団体や個人の間で連携と協力が生まれるネットワークづくりなど、一人ひとりが大切にされるまちづくりをすすめていきます。

部会だより（5ページ）で報告していますように5つの課題別部会で活動しています。これらの部会に共通する活動（研修企画、活動調整、広報・教材）は、それぞれの部会の代表によって構成されている「人権文化創造部」が担っています。



現実を「知る」、思いを「知る」、できるを「知る」ことから

2016年に3つの人権にかかわる法律（障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法）が施行され2年が過ぎました。

これらの法律が新たに作られたのはこれまでの取り組みでは対応できない新たな課題があるということです。その現実をまず知ること、そして当事者の思いを知る、その上で、今、一人ひとりが取り組むことを知ることはとても大切なことです。

そのために 人権文化創造部では全員研修2回と視察研修等を企画し実施しています。

(1) ネット社会と部落差別の現実 12月12日

講師 川口 泰司さん

(一般社団法人山口県人権センター事務局長)



●参加者の感想

- ・ ネット社会について何となく知っていたことを、より具体的に学び、そのゾッとする内容におどろきました。年代的には学習してきた世代ですが、過信することなく学び続けることが大事だと感じました。子ども達に正しいことを伝えられるようになりたいし、子ども達を加害者にも被害者にもしない為に学んでいきたいと思えます。
- ・ 普段何気なく見ているネットの怖さを具体的に話してもらい、とてもよくわかった。無知な人は、無知であるが故にネット検索し、デマを信じこんで悩んだり差別意識がすりこまれたりしてしまう。
- ・ 同和教育の大切さとネットの中の情報の危険性を多くの人が学び、正しい知識を身につけることが重要だと思った。

(2) 共生社会と人権～ちがいをつなぐ～ 1月22日

講師 武田 緑さん

(教育コーディネーター Demof代表)



●参加者の声

- ・ 自分の当たり前をもう一度問い直す必要があると感じました。それを問い直す機会をもつことが大切で、多様なあり方を知るために学び続けたいと思います。相手の立場、特性を想像することを、今後の指導で意識していきたいです。
- ・ 多様性についてわかりやすくお話いただきよかったです。また、参加者同士の話もできありがとうございました。
- ・ 多様性のイロハが少し理解できた。枠組みそのものを変えることが生きやすさにつながるというコメントがあり、たがいに理解しあうことが大事であると感じました。
- ・ 世の中の事、一つひとつに関心を持ち考えることが大事、分かりやすいテーマで話し合いができた。

湖南省人権教育研究大会（2月2日）で

人権まちづくり会議の取り組みを発表しました。

人権文化創造部研修企画リーダーの喜多 哲さんが、人権まちづくり会議の活動を発表しました。

人権まちづくり会議の日頃の取り組みを知ってもらうよい機会となりました。



人権まちづくり会議の「進化」と「前進」を願って

「人権は進化し、また、退化する。」という話を聞いたことがある。社会全体でいうと、以前では差別や人権侵害としてとらえられなかったセクハラやパワハラ、家庭内暴力や児童虐待などは、今、大きな社会問題（人権問題）となっている。これは、問題の件数が増えただけでなく、「これは問題だ。」と気づき、声を上げる人が増えてきたからである。そのことによって、これらの人権問題はよい循環の中で社会に認識されつつある。まだ、解消とまではいかないが、問題意識の高まりによって一歩ずつ進化していることは間違いない。一方、IT革命以降、その発達により、ネット社会における差別や人権侵害が起きている。匿名性であることをいいことに、差別的な言葉を書き並べたり、個人の情報を流したりしている。その内容は筆舌に尽くし難いものであり、人権意識の退化は目に余るものがある。この状況に対して、世論に押された国は2016年障害者差別解消法・部落差別解消推進法・ヘイトスピーチ解消法を成立させた。理念法であるので罰則規定などはないが、これもわずかながらの進歩である。ところで、個人でいうとどうなるか。地域の人権懇談会などで、「また人権か？」「差別したらあかんのはわかってるし、わたしは差別せえへん。」という声を聞くことがあった。先に述べたように、人権問題は日々変化している。新しいことを学ぼうとしない時点で、退化が始まっていると考えられる。新しい価値観・知らなかった事実であったとき、人は進化の一步目をスタートする。湖南省人権まちづくり会議はこの一步のお手伝いをします。

人権文化創造部 研修企画リーダー 喜多 哲

ぶ かい 部 会 だ よ り

今年度はこんな活動をしました。



女性を議会へ ~議会の女性議員、なぜ少ないの~ 女性の人権部会

湖南省議会の女性議員の皆さんに、「議会活動での男女共同参画の現状と課題」についてお話をきき、懇談しました。2018年5月に、議会への女性進出を後押しする法律が成立しましたが、日本の女性議員の比率は世界でも最低レベルとされています。

ないでしょう
か。

また、男性の比率が多いのは議員だけではなく、地域の区長や自



治会長などの役員も女性は少なく、男性優位の文化が根強いように感じられます。それは、女性は子育て、介護などの小さな視点でものごとを考え、大局的な視野に立って考えることが難しいのではないかとという様な、長い歴史のなかで作り出されてきた性別役割分担意識に基づく考えが根強くあるからではないでしょうか。

等等 自由にいろんな角度から話し合うことができました。女性議員のみなさんも、私たちの素朴な質問にも気軽に応えていただき、とても有意義な時間になりました。

住みよい地域社会を築くためには、男女共に議会や地域に進んで参画することがいかに大切かを改めて実感できました。また全国の市議会の女性議員の平均比率をはるかに越えている湖南省議会にも大きな期待と誇りを感じることができました。

女性の人権部会 林 明美

衆議院女性議員	10.1%
参議院女性議員	20.7%
滋賀県議会女性議員	16.3%
湖南省議会女性議員	33.3%
※全国市議会女性議員の平均	約15%

市民が男女半々であるのに、なぜ議会の女性議員は、少ないのでしょうか。

女性は、市民活動やボランティア活動に携わっていても、市議会の議員に立候補するというと。かなりハードルが高く思います。

みなさんの中から出てきた意見は以下のような内容でした。

現状では、男性の場合は、家族的責任を免除され、妻や家族が支援してくれることが多いのに対して、まだまだ女性には家事、子育て、介護の負担が大きく、政治に関心があっても立候補することを思いとどまってしまうのでは

子どもを守る大人であるために 子どもの人権部会

今年に入ってからも、虐待によって幼い命が奪われるといったニュースが報道されたのを耳にして「子どもの人権は守られていないな」と心を痛めています。自分が子どもの頃に経験してきた生活や環境とはずいぶん様変わりした現実を見て、大人も学んでいかなければ・・・という思いです。

私たちの部会では、講演等の話を聴いて小グループで話し合いをもとうという希望が多かったので、市でおこなわれた講演会2つにタイアップする形で参加を呼びかけました。残念ながら昼間の講演なので、部会の参加者は少なめでしたが、講演を聴いて記憶が新しいうちに話し合いができたのはよかったです。

講演の一つである佛教大学の原 清治教授「ネット社会の視点からみる子どもたちと健康」から、参加者の学びや感想を要約すると

- ・スマホを与えたら、家族でルール作りをする。
- ・人間関係の作り方が以前とは違う。SNS等による希薄な人間関係であり、もろさがある。

- ・叱ることにに関しては、みんなの前で叱らない。どうすれば自尊心を傷つけないで注意を促せるか（理解してもらえるか）フォローして共感させる手法が必要。
- ・生涯学習が叫ばれて久しいが、教える立場になっても学ぶ姿勢が大切である。学んでいく過程で理解を深めることにより、相手を思う心が育つ。等々

みなさんからいただいた貴重な意見や感想をどのように啓発につなげていけばよいのか悩むところですが、一人ひとりが何かをきっかけにして、講演を聴く→感想を持つ→子どもたちの姿を再認識する（観察する、目を向ける）といった地道な活動をしていくことが一番大切ではないでしょうか。



子どもの人権部会 山本 政美

いきいきとはたらく～こんな職場が増えるといいな～

障がいのある人の人権部会

障がいのある人の人権部会では今年度もいろいろな活動をしました。

なかでも、障がいのある人が生き生きと働いている職場の見学研修では企業の方や福祉の職場の方が障がいのある人達にとって働きやすい環境づくりに努めておられることを学びました。

ヤンマーシンビオシスという会社では葉物野菜の水耕栽培や親会社のヤンマーの農機の販売デモンストレーション用の野菜苗づくりに励んでいる人達から話を聞くことができました。

「特定非営利活動法人縁活」が運営している「おもや」では自然農法での野菜づくりの話を

聞きました。野菜づくりを通して地域とつながっている様子を見せていただきました。



お昼ご飯は「おもや」で育てた野菜を使って食事を提供している「オモヤキッチン」で野菜のグリルランチやハンバーグランチなどをいただきました。

どちらの職場も「共に生きる」をテーマにされており、「こんな職場が増えるといいな」と思いました。

障がいのある人の人権部会 宇野 正信

とし 齢をとることが「すてき」と思える社会に

こうれいしゃ じんけん ぶ かい 高齢者の人権部会

こうれいしゃ ぶ かい 高齢者部会では、こうれいしゃ い けんこう 高齢者の生きがいや健康医療などを通じて、こうれいしゃ じんけん そんちやう 高齢者の人権が尊重される地域づくりを目指して活動を行っています。今年度の活動について話し合いを行った1回目に続き、2回目は昨年12月に石部医療センターの藤井先生の講演をお聞きし、高齢者の在宅での介護や看取りについての講演をお聞きし、高齢者の在宅介護にいろいろな支援が受けられることを学びました。3回目は今年1月には信楽のぬくもり喫茶「牧の



さと すぎもと こもん こ 里」の杉本顧問にお越しいただき、「牧の里」立ち上げのご苦労や、こうれいしゃ いこ ば 高齢者の憩いの場として定着している現状をお聞きし、ここまでの顧問のご努力や地域の皆さんによる助け合い、支え合いに参加者一同大いに感銘を受けました。4回目は2月に八日市にある「しみんふくしの家」を訪ねりハビリを中心としたデイサービスのあり方を見学しました。今年は4回の活動により介護や居場所づくりを通じてこうれいしゃ じんけん を考えてきました。さらに視野を広め今後の活動を継続してゆきたいと考えています。

こうれいしゃ じんけん ぶ かい いのうえ けんじ 高齢者の人権部会 井上 賢治

Think Globally, Act Locally (地球規模で考え、足元から行動せよ)

がいこくじん じんけん ぶ かい 外国人の人権部会

へいせい ねん がつ にち ていれいそうかい ご だい かいがい 平成30年5月24日の定例総会後に第1回外国人の人権部会が開催されました。昨年につき部会長をお受けいたしました。その後、外国人の人権部会会員はもとより、市人権まちづくり会議の会員様のご協力により事業を進めてまいりました。

10月26日に第2回、12月15日第3回と回を重ね、2月8日に第4回を開催いたしました。

第1回会議では本年度の事業の進め方は出来るだけ外国籍の方々と触れ合う事業を多くしていきたいという方針がきまりました。

第2回では、湖南省市多文化共生推進プランの策定委員長であった阿部一郎先生にも入っていただき話し合いを深めました。共生社会の実現に向けて日本人と外国人が互いにもっている不安や期待などを知りあい理解しあうことから始めていきました。

第3回では、ソーシャルビジネス（社会の問題を解決することを目的としたビジネス）と多

ぶん かきやうせい 文化共生とのつながりについて実際に取り組みを始めておられる方の話を聞きました。

第4回目において

は、新しいグローバルな考え方は、ずっとこの地域で生活して来られた高齢者には伝わりにくいところがあることや、実際にプランに掲げられている目標は夢物語だという意見等が住民の意識として根強くあることが話題に出てきました。

回を重ねるごとに、新しい発見があり、これまでの課題が、実は、湖南省市がもっと魅力的で豊かなまちになれる宝であることが見えてきました。

がいこくじん じんけん ぶ かい さんだいじ ゆきお 外国人の人権部会 三太寺幸雄



市内児童・生徒 人権ポスター



いしべちゅうがっこう ねん いなゆうみ
石部中学校 3年 伊奈優真



みくもしょうがっこう ねん きぬたしゅうすけ
三雲小学校 4年 衣田匠佑



みとしょうがっこう ねん かなもり りょう
水戸小学校 5年 金森 稜



ぼだいじしょうがっこう ねん もりちしゅうと
菩提寺小学校 5年 森地脩翔

人権標語

きっとある 命をまもる ひとことが

「また明日」「ごめんね」「どうも」「ありがとう」

笑顔から つくっていこう 人の輪を

個性という 一人ひとりが もつ輝き

しもだしょうがっこう ねん うえにしななこ
下田小学校 5年 植西菜々子

いしべみしょうがっこう ねん はやし りおな
石部南小学校 5年 林 理桜菜

こうせいちゅうがっこう ねん こしま
甲西中学校 2年 小嶋ひまり

こうせいきたちゅうがっこう ねん やまかわ ひづき
甲西北中学校 2年 山川 陽月